

**立憲民主・無所属の会**

**さいたま市議団**

基本方針「市民と共に明日を創る」

**中間報告会2024**

2024.11.17 埼玉会館ラウンジ

# 【本日の予定】

1. 開会のことば(14:00)
2. 議員紹介
3. 会派基本方針評価の概要説明
4. 基本方針中間報告(内部評価)
5. 外部評価(学生)(14:50予定)
6. 外部評価(有識者)
7. 休憩
8. 市民・議員と意見交換(15:30予定)
9. 講評
10. 閉会のことば(16:35 終了予定)



---

# 会派基本方針 評価の概要について

---

# 【選挙前と選挙後？】

マニフェスト

政策

公約

アジェンダ

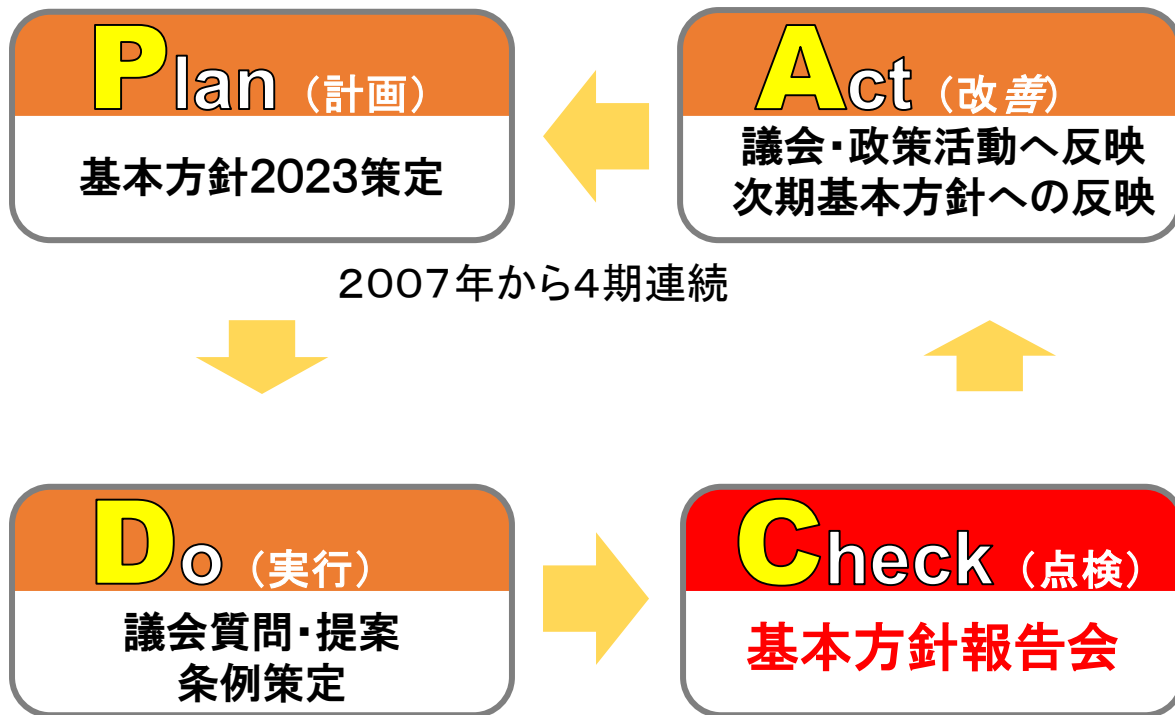


言いつぱなし

質問しない

要望しない

# 【会派基本方針の評価】



立憲民主・無所属の会さいたま市議団



基本方針「市民と共に明日を創る 2023」

明日のために改革を

1. 『誰ひとり取り残さない』視点での施策展開
2. 市政の透明化・情報発信強化と市民参画の推進
3. 事業等の見直しによる新たな財源確保

明日の世代を育みます

4. すべての子どもに学びと成長の機会充実
5. 社会全体で子どもと若者を支えるまち
6. 子育て世代に行き届く支援体制の構築

明日に向かっていきいきと

7. すべての市民の健康増進と福祉向上
8. 持続可能な働き方と経済成長の実現
9. 『人生100年時代』の学びとコミュニティの充実

明日のまちをつくります

10. 脱炭素・循環型社会とみどり豊かな都市の創造
11. 命と暮らしを守る防災力と地域安全の向上
12. 地域を支える交通体系の構築と都市基盤整備

明日の力は市民の力

13. 多様な価値観と人権尊重・ジェンダー平等の推進
14. 誰もが健康で心豊かにスポーツ・文化にふれあえるまち
15. 市民協働・公民学連携による地域課題の解決

市民と共に ～議会の「見える化」の推進を～

- ・ 議会デジタル化の推進
- ・ 市民の声に基づく政策提案の拡充
- ・ 議会におけるコンプライアンスの徹底

# 【会派基本方針への評価】



## ● 評価可能な形で市民へお示し

立憲民主・無所属の会さいたま市議団 基本方針「市民と共に明日を創る」中間報告会 2024 <評価シートWeb版>

立憲民主・無所属の会さいたま市議団が2023年に策定した基本方針の達成度について、ぜひ中間評価をお願いします。これまでの取り組みについては[会派ホームページ](#)の資料でご確認ください。

また、基本方針評価のあとに中間報告会2024についてのアンケートが続きます。併せてご回答ください。

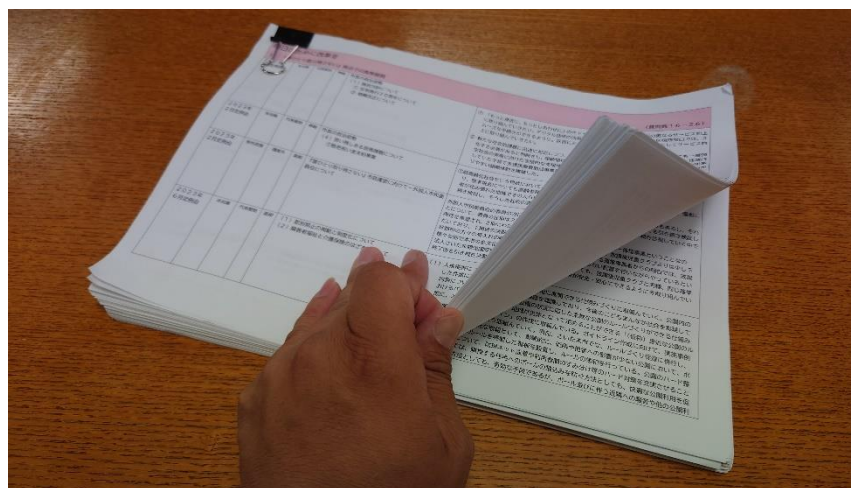
回答締切：2024年11月30日（土）

[アカウントを切り替える](#)

\* 必須の質問です

メールアドレス\*

評価基準		点数
優	会派で議会質問施策提案、予算要望を行ったことにより、行政（もしくは議会）が着手し、結果を導き出している	5
良	会派で議会質問施策提案、予算要望を行ったことにより、	4



# Check (点検)

## 基本方針報告会

- 市民・有識者(外部)と所属議員による内部評価を突き合わせ、中間年の評価は、議会質問や予算要望に反映させる。最終年の評価は、会派基本方針に反映させる。

### 市民評価

報告会での評価  
Web上での評価

### 外部評価

### 内部評価

### 会派基本方針

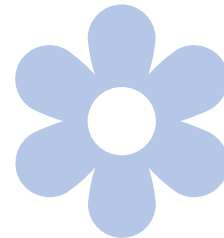
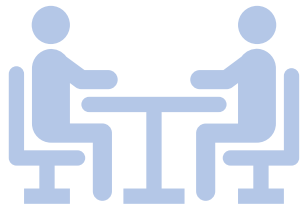
代表質問  
一般質問  
議案外質問

予算要望

# 【評価基準】

	評価基準	点数
優	会派で議会質問施策提案、予算要望を行ったことにより、行政（もしくは議会）が着手し、結果を導き出している	5
良	会派で議会質問施策提案、予算要望を行ったことにより、行政（もしくは議会）が何かしら着手したと判断できる	4
可	会派で質問や政策提案、予算要望は行っている	3
不可	会派でほとんど取り組みがされていない	2
評価に値しない	会派で全く取り組んでいない	1





---

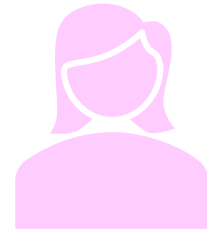
# 明日のために改革を

---

# 政治・経済分野における女性の参画を促進していくには。

内部評価  
3.8点

（2023年9月代表質問）



**【回答】** ワークライフバランスの推進や働く場における男女の均等待遇の促進に取り組むことにより、**女性の参画を促進していく。今年度内には、全庁の職員を対象にワークライフバランスを推進するための研修も予定していく。**

堤

# 政策実施の合意形成プロセスにおいて市民ファシリテーターを活用すべき。

内部評価

3.7点

（2024年6月一般質問）

【回答】 **効果的な手法**であると認識。政策に応じた適切な

手法を用いて **合意形成に努める。**



# 市有地の積極的な 活用による財源確保を。

（2023年12月一般質問）

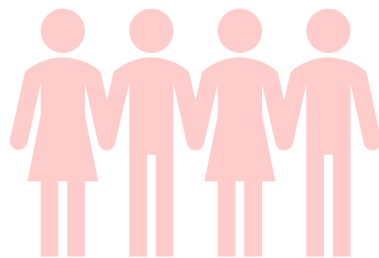
内部評価

3.5点



【回答】 公募貸付が可能なものを掘り起こしながら

積極的に推進する。



---

# 明日の世代を育みます

---

## 4. すべての子どもに学びと成長の機会充実（52回）

西三

# 経済格差が教育格差。公教育ではボトムアップの教育に重点を置くべき。

（2024年2月代表質問）

内部評価  
3.8点



**【回答】** 世帯収入が少なく、学費の負担が困難な学生に対する**大学等進学「夢」支援も新規に予算措置**し、熱意のある学生を応援していく。

## 5. 社会全体で子どもと若者を支えるまち（41回）

市民

# マッチングファンドを活用して移動型プレイパーク事業を実施したが、今後の展開は。

内部評価  
3.3点



（2024年9月一般質問）

**【回答】** 今後は「事業の担い手や団体の育成」と「実施場所の確保」といった課題の解消に向けて具体的な検討を進めながら、**プレイパークを市内各地に展開できる仕組みづくりに取り組み組んでいく。**

永井

内部評価

3.9点

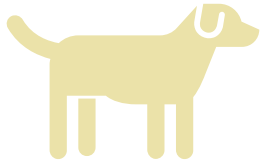
# ひとり親家庭への経済的支援の充実を。

（2023年12月一般質問）



【回答】市が代わりに立て替える「**養育費の立て替えサポート事業**」や「**不払い養育費の訴訟補助**」が**2024年4月開始**。





---

# 明日に向かっていきいきと

---

# デジタルサイネージ等の 音声信号機等の視覚 障害者用音声誘導装置 の音をかき消している。

内部評価  
3.6点

（2024年2月まちづくり）



**【回答】** 大宮駅東口駅前視覚障害者用信号機については埼玉県警察が**信号機の誘導音の音量を上げる対応を行った**。今後も同様の事態とならないために、また、視覚障害者の方の安全な通行を確保するためにも、**ガイドラインの音の部分についての見直しに着手する。**

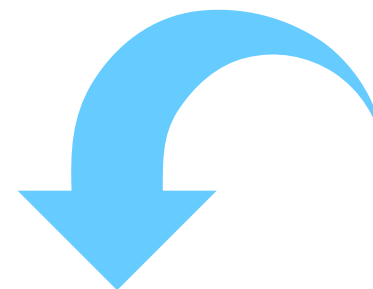
## 8. 持続可能な働き方と経済成長の実現（32回）

高柳

# さいたま市職員の キャリア・リターン制度 の導入は。

内部評価  
3.6点

（2024年9月代表質問）



**【回答】** 行政事務、土木・建築職、保育士、保健師などで**2025年度に導入**する。

佐伯

# 社会教育が目指す 「地域課題を解決する 学び合い」を実践する 公民館の実現。

内部評価

3.2点

（2024年6月一般質問）



**【回答】** 2025年より専門職を配置し、外部アドバイザーの助言を受けながらモデル館を1館運用し、社会教育の意義と効果を広げていく。



---

# 明日のまちをつくります

---

佐々木

再生資源物の屋外保管に関する条例の制定時、既存事業者に対して「立地基準」や「構造基準」も適用し、より厳しい基準を課すことを求める。

内部評価

4.0点

（2023年9月一般質問）



【回答】 既存事業者にも「構造基準」の一部、排水処理設備の設置は適用されることになった。事前の説明会は適用外ではあるが、周辺住民等から求めがあった場合には事業等について説明することが義務として課された。

# 防災対策における意思決定の場への女性参画の推進を。

（2024年2月代表質問）

内部評価

4.1点



**【回答】** 災害対策における**女性参画の必要性の啓発**や、その補佐を行う幹事について**女性の推薦をお願いする**等、防災対策における**意思決定の場へ女性参画を推進**していく。

堤

# 高齢者等移動支援 事業で使用する対象 車両の拡充を。

（2023年9月一般質問）

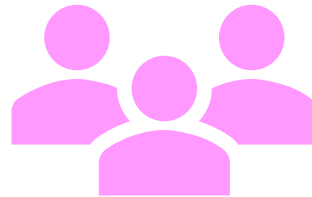
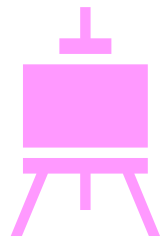
内部評価

3.5点



**【回答】** 自治会所有の青パトも、同事業で活用できるようになった。**シェアカー、レンタカーの使用、ドライバー手当も補助金からの支出が可能に。**





---

# 明日の力は市民の力

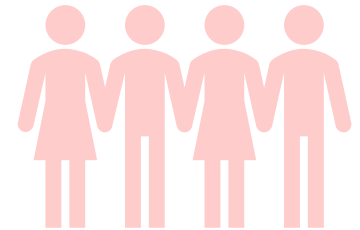
---

永井

# 若年層に対する DV支援対策とは。

（2024年6月議案外）

内部評価  
3.8点



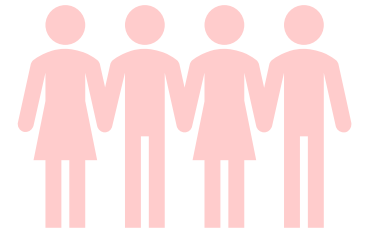
**【回答】** 教育委員会と連携し、毎年各学校でデートDVに関する研修会を開催している。セーフコミュニティDV防止対策委員会においても民間団体とともに協議している。

内部評価

3.8点

佐伯

# パートナーシップ制度に おける税制証明書の交付と 扶養手当の支給は。



（2024年9月議案外）

**【回答】**同居のパートナーの税証明書を取得する際に、パートナーシップ宣誓書受領証を提示すれば、委任状なしで取得できるようになった（2024年10月）。扶養手当の支給は見直しの必要があると認識している。

# 文化芸術都市創造計画

内部評価

3.3点

相川

## における公共空間、 まちづくりのアートスタイルとは。

（2024年6月一般質問）

【回答】さいたま市国際芸術祭のレガシーとして、公共空間に作品を展示している。町なかで文化芸術活動を展開する市民等に対してアーツカウンシルさいたまによる相談窓口を活用してほしい。身近な場所で気軽に文化芸術に触れることができる環境づくりに努めていく。

佐伯

# 高校生たちからの地域課題解決に向けた声の反映。

内部評価  
3.5点

（2024年6月一般質問）



**【回答】** 大宮駅西口バスロータリーが非常に混雑するので床面にロードペイントをという声で、2024年4月に**高校生とバス会社と行政とが連携して完成。**



---

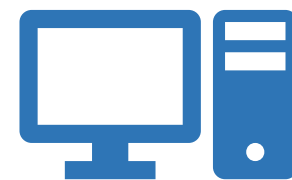
# 市民と共に ～議会の「見える化」の推進を～

---

内部評価

4.1点

●代表・一般質問時の資料掲  
示は議会局職員パソコンから  
のデータ表示で映写。



●議案質疑・討論等の通告書  
が議会局へのメール送信で提  
出可。

●常任委員会の報告資料は  
データ提供とし、希望議員に  
のみ紙で配布。



●市議会への請願・陳情の  
電子申請開始。



●予算委員会(委員長:三神)として、**公募若者市民との意見交換会を2023年12月に実施**。予算審査に反映。



●文教委員会(委員長:佐伯)として、大宮国際中等教育学校の生徒と連携し、生徒が行った地域課題解決の取り組み事例を発表。**生徒、市民、議員と意見交換を2024年2月実施。**

## ●市民の声に基づく政策提案の拡充

●議員提出議案として「さいたま市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援等に関する条例」を2024年2月定例会で制定→4月1日施行。過程の会派の意見として、誹謗中傷等の定義の中に「不当な差別的言動」を追記。

●市議会政策条例プロジェクトチーム(座長:副議長西山)がテーマ「手話言語条例」で2024年9月定例会に発足。



●ハラスメント講習を**全議員**  
**対象で年1回実施**



# 内部評価結果

---

## <立憲民主・無所属の会さいたま市議団>

●合計点

**59.2点** / 80点

●達成率

**74.0%** / 100%



---

**ご参加いただき  
ありがとうございました**

---



ご参加いただいた皆様による  
「市民評価」はこちらのQRコードから  
ご入力いただけます。